

平成30年度 板橋区議会予算案審議中



旧大山小跡地利用

板橋交通公園リニューアルはどうなった？

大山小が廃校となり、私有地と区有地の交換をして、現在、私有地にはマンションが建設中です。

板橋区では、この跡地利用と交通公園の一体化について、次のような方針を平成28年度に発表しました。

- ・マンション敷地と区有地の境目に道路を付け替える
- ・区有地部分に現在の交通公園の管理事務所棟を移転して、地元要望を聞きながら、集会所や倉庫などを併設し、さらに、現在、旧板橋四中に仮移転した南部公園事務所を併設する
- ・地元と利用者のアンケート結果を参考にして、管理事務所棟跡地と旧大山小跡地も公園の一部とした交通公園のリニューアルを行う

ところが、平成30年度予算には、板橋交通公園耐震補強工事の予算が計上されていてビックリ！公園リニューアル、管理棟新築移転はしないのか？予算審議の中で明らかにしなくてはなりません。

まずは、2月28日の総括質問で以下の質問を行う予定です。



交通公園と旧大山小跡地平面図



現在の管理事務所棟



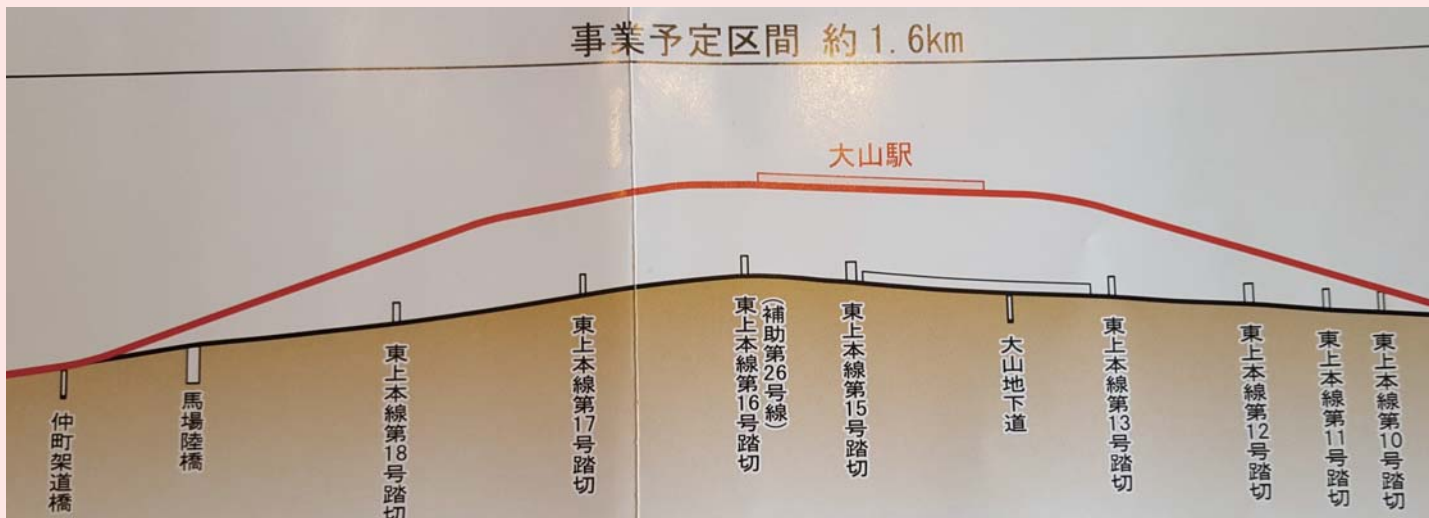
旧大山小跡地と交通公園の境界

- ①公園リニューアルと管理事務所棟新築移転を中止(延期)した理由は？
- ②耐震補強工事だけで、3階の集会所のリニューアルはしないのか？
- ③耐震補強工事をするということは管理事務所棟の新築移転は中止になったのか、延期なのか？
- ④交通公園のリニューアルは中止か延期か？
- ⑤道路の付け替え工事はいつやるのか？
- ⑥南部公園事務所は旧板四中に固定化するのか？

◎大山小の閉校並びに跡地利用については、地域住民の反対もあった中で、跡地整備と隣接した交通公園のリニューアルを約束したはず！
このままでは納得できません！

東上線立体化と大山まちづくりの行方

東武東上線連続立体化は、2月16日・17日に行われた都市計画素案説明会において、大山駅を中心とした約1.6kmについて下記のように鉄道を高架化して、8つの踏切を解消し、さらに駅前広場を整備する旨の方針を発表しました。踏切の解消は区民の悲願ではありますが、高架化よりも地下化をという声がある中で、地域の理解を求めて丁寧な説明が求められます。



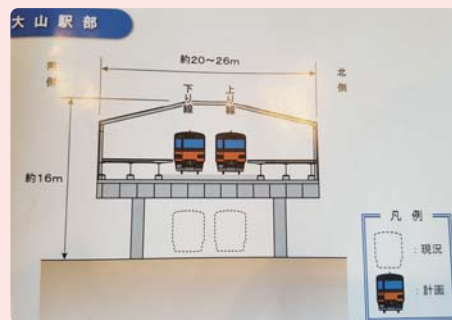
連続立体化縦断面図

駅前広場には下記図のように、補助26号線から車両が出入りできるようになり、バス・タクシーなどの乗り換えの便もよくなるはずですが。

ハッピーロードの自転車が補助26号線沿いに流れることによって、ハッピーロードの歩行者の安全な通行が確保されることとなります。



駅前広場と取付道路図



大山駅部分の立体図



駅前広場予定地

立体化までの道のりはまだまだ険しいのですが、その前提になるのが補助26号線の延伸開通です。平成27年2月の都市計画法の事業認可以降、土地の取得が進んでいます。川越街道の入口部分の大山交番も移転し、補助26号線にかかる部分の用地買収も進んでいます。



川越街道大山交番跡



東京都のお知らせ



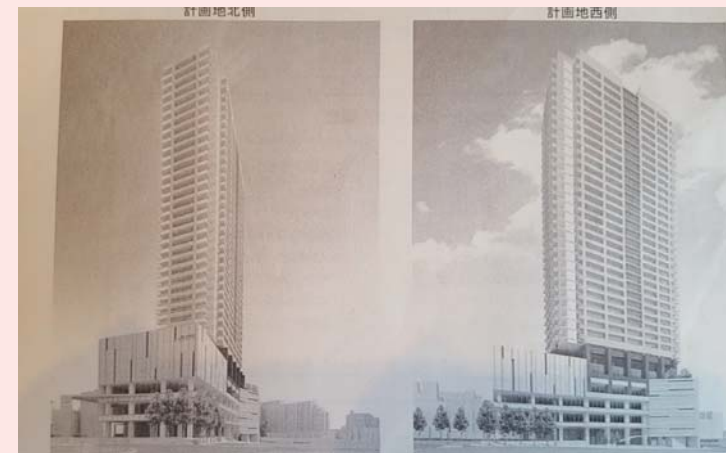
工事現場

◎補助26号線がハッピーロードと交差するクロスポイントで商店街が分断されないように、まちづくりの観点と商業振興の両面からの大きな支援が必要です！

板橋駅前区所有地 (B用地) と JR用地との一体的活用の方性

長い間、多くの地域住民の要望がありましたJR板橋駅周辺地域の活性化に向けて、北区側・板橋区側のバリアフリー化並びに駅舎の改築と同時に板橋区用地との一体活用が実現します。

平成28年に板橋区はJR東日本と合意書を取り交わしましたが、29年度中には基本協定を締結し、プロポーザル方式による共同事業者を決定する予定です。



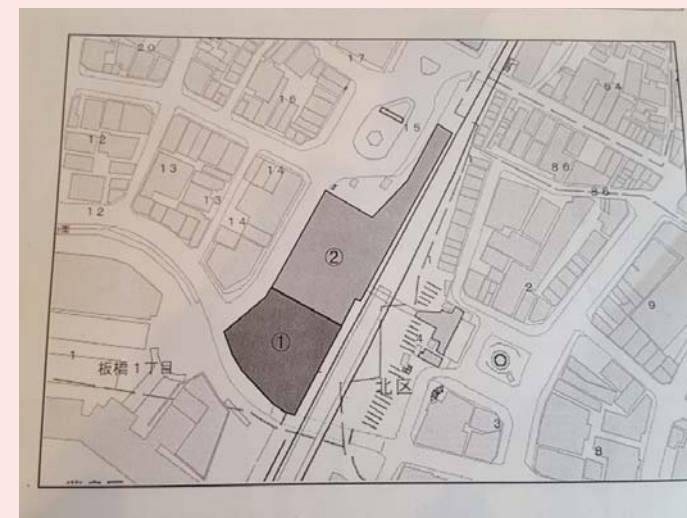
施設完成イメージパース

しかし、この計画が地域要望を取り入れながら、行政需要をも勘案し、真に板橋区の将来のためになるのかは不透明であり、議会各会派からも疑問の声が上がっています。

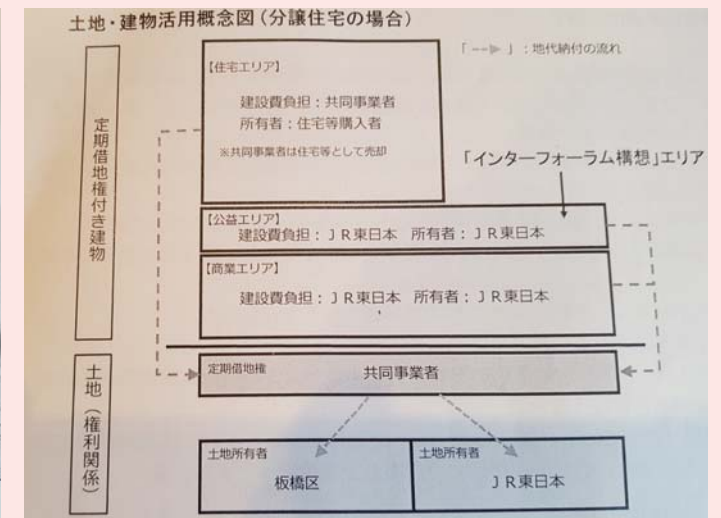
JRの商業施設部分やこの事業を成立させるために、この地区を高度化してマンション建設をするところまでは私も理解できます。

下記4階公益エリアにどのような事業をするために、どの程度の面積を確保して、どれだけの賃借料を支払うのかがプロポーザル方式で選ばれる共同事業者の提案に委ねられるというのは理解できません。

板橋区の所有する約1675㎡のB用地は、この事業面積の約43%を占め、この計画上では70年間の定期借地権契約を締結して、地代として毎月250～260万円程度が支払われるとのことですが、4階公益エリアの広さが1000～1400㎡と仮定するならば、賃借料は毎月300万円以上に膨れあがります。さらにこの公益エリアで行う事業を民間に委ねるとのことですが、人件費と事業費を上回る利益を生むような公共的な事業を行えるとは到底考え辛く、その分の委託費も加わり、70年間にわたり、この費用を板橋区が負担することが区民の皆様の理解を得られるのが焦点です



計画地概要



計画地概要

◎必要な公共事業施設ならば、税金投入は致し方ありません。しかし、行政需要がないのなら、JR東日本に全面的に貸し付けて地代収入だけを70年間得るとか、民間保育園に貸し付けるなどの方法を考えねばなりません。さほど必要性の少ない公共的な事業に大金を投じることには区民の理解は得られないと考えます。

板橋区の財政状況はどのようなのか？

平成30年度の日本経済は、海外経済の回復が続く中、国の政策効果も相まって、雇用・所得環境の改善が続き、民需を中心とした景気回復が見込まれています。本区においても、好景気を反映して特別区交付金が前年比53億円の増収で過去最高の696億円を見込み、納税義務者の増などにより、特別区民税も7年連続、前年比15億3600万円増収の461億8700万円で2年ぶりに収支均衡予算が組めることになりました。

一方、待機児童対策に伴う私立保育所保育運営費や障がい者自立支援経費等の扶助費の増や学校等の公共施設の更新など、区財政の先行きは予断を許す状況にありません。

<歳入の推移>

単位は千万円

| | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 一般会計歳入合計 | 18063 | 19155 | 19817 | 20257 | 20690 | 20927 |
| 特別区税 | 4131 | 4206 | 4328 | 4433 | 4465 | 4619 |
| 地方消費税交付金 | 555 | 710 | 1188 | 1185 | 1180 | 1064 |
| 特別区交付金 | 6060 | 6460 | 6390 | 6590 | 6430 | 6960 |

<歳出の推移>

単位は千万円

| | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 議会費 | 966 | 938 | 1007 | 934 | 933 | 932 |
| 福祉費 | 10940 | 11226 | 11624 | 12058 | 12345 | 12422 |
| 教育費 | 1679 | 2027 | 2495 | 2481 | 2287 | 2482 |
| 公債費 | 628 | 583 | 609 | 422 | 367 | 298 |

今後の
予定

- 3月 3日 本会議 区長施政方針
- 7日 本会議 代表質問
- 8日 予算委員会 企画総務分科会
- 11日 **区政報告会**
- 15日 予算委員会総括質問①
- 16日 予算委員会総括質問②
- 17日 小石川100周年行事委員会
- 18日 剣道開放団体剣道錬成大会
- 19日 予算委員会総括質問③
- 20日 中学校卒業式(板橋二中へ)
- 23日 小学校卒業式(板橋第五小へ)
- 26日 本会議
- 31日 仲町地区桜まつり

おなだか 勝 区政報告会

文化会館4階大会議室

3/11(日)

18:00 開場 18:30 開会

会費：3,000円

※当日、会場にてお支払い下さい

区政に対する、ご要望・ご提案・ご質問をお寄せください。真摯にお応えいたします！

板橋区議会議員

おなだか 勝 事務所

〒173-0034 板橋区幸町51-9 <http://onamasa.com/>
 電話:03-3554-0965 FAX:03-5966-9595
 メールアドレス:onamasa.10.10@jcom.home.ne.jp